


No.・区分	10208	ハード部門(土木)
タイトル	トンネル坑内安全通路に関する工夫	
動機・改善前の状況	安全通路区画明示の柵高さを 1.2mにしていた為、歩行中に手に当たるなど窮屈な歩行を強いられていた。また、通路は碎石敷きであったが、歩行時に跳あげにより碎石が散乱するなどの問題があった。	
改善・実施事項	区画明示の柵を40cmまで下げて、歩行上の有効空間に余裕を持たせた。また、碎石上にAs乳剤を散布して散乱防止に努めた。	
改善効果	高さを下げたことにより、歩行中に手が柵に接触することなく楽な姿勢で歩行することが出来るようになった。また、散乱防止により、歩行及び維持管理が容易になった。 ちなみに、所轄労基署臨検の際に、改善策に対し高い評価を受けた。 (法解釈上も問題ないことを確認)	
活動内容 改善事項の図、 写真		

**Good Practice!**